

Category: **アイス・ダンス**

Subject: **パターン・ダンスの説明, 表, ダイアグラム(ノービス国際競技会)**

ヨーロピアン・ワルツ (出典: ISU Handbook Ice Dance 2003, § I-4)

音楽 - ワルツ $\frac{3}{4}$ 拍子
テンポ - 3拍子 45小節/分
- 毎分 135拍子
パターン - セット
時間 - 2シーケンスで 48秒

ヨーロピアン・ワルツの基本ステップは、男性の場合はクロス・ロール・スリー・ターン、バックワード・アウトサイド・エッジ、フォワード・アウトサイド・エッジ、女性の場合はバックワード・アウトサイド・エッジ、スリー・ターン、もう 1つのバックワード・アウトサイド・エッジである。これらの 3つのステップの半円形のローブはリンクの長辺に沿って行われ、最初のローブは中央線に向かって初め、2番目はフェンスに向かって滑る。これらのローブが完全な半円形となるように、それぞれのスタートを直角に中央線に向かって、あるいは直角に中央線から離れていくように注意しなければならない。

スリー・ターンとバックワード・アウトサイド・エッジの連続から構成されている大きなローブが、リンク・エンドの部分で上述のローブをつないでいる。通常この大きなローブでは、それぞれのパートナーが 4つのスリー・ターンを行うが、しかし水氷面が広いときにはそれ以上でもさしつかえない (ISU ジャッジング・システムにおいて、リンク・エンドでのスリー・ターンの数がいくつでもこのダンスのセクションは変わらないものとする)。この点が唯一許された変更である。

それぞれのローブの開始において、男性のスリー・ターンはクロス・ロールで滑るべきである。しかし、女性のバックワード・アウトサイド・エッジはオープン・ストロークで始める。すべてのスリー・ターンは 3拍目で行う。この種のターンは“ヨーロピアン・ワルツ型のスリー・ターン”として知られている。すべてのエッジは 3ビートの長さである。

ダンスは全体を通してクローズド・ポジションで滑り、パートナー同士は近接していなければならない。両パートナーともに同じ軸の周りで回転するべきであり、回転は連続的で、新しいローブのスタートのたびに回転の方向が逆になる。例えばリンクのフェンスに向かうローブではカップルの回転は左回り、中央線に向かうローブではカップルの回転は右回りである。この回転はどれも良くコントロールされていなければならない。その為にはフリー・フットをスケートイング・フットの近くに保つことが最も良い。すべてのスリー・ターンにおいて、回りすぎないようにチェックが必要である。

真っ直ぐな姿勢や常に力強いストロッキング、つりあいのとれたフリー・レッグの伸ばし方、規則正しい膝の曲げ伸ばし等によって、このダンスにワルツの味わいを与えることが出来る。

考案者 不詳
初演公開 1900年以前 場所不詳

Category: アイス・ダンス

Subject: パターン・ダンスの説明, 表, ダイアグラム(ノービス国際競技会)

ヨーロピアン・ワルツ (出典: ISU Handbook Ice Dance 2003, § I-4)

ホールド	番号	男性	音楽の拍数		女性
クローズド	1	CR-RFO3	2+1	3	LBO
	2	LBO	3	2+1	RFO3
	3	RFO	3		LBO
	4	CR-LFO3	2+1	3	RBO
	5	RBO	3	2+1	LFO3
	6	LFO	3		RBO
	7	CR-RFO3	2+1	3	LBO
	8	LBO	3	2+1	RFO3
	9	RFO	3		LBO
	10	CR-LFO3	2+1	3	RBO
	11	RBO	3	2+1	LFO3
	12	LFO3	2+1	3	RBO
	13	RBO	3	2+1	LFO3
	14	LFO3	2+1	3	RBO
	15	RBO	3	2+1	LFO3
	16	LFO3	2+1	3	RBO
	17	RBO	3	2+1	LFO3
	18	LFO	3		RBO

